

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 森田 憲司

最終学歴	1979年3月京都大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士課程単位取得満期退学
取得学位	文学修士
所属学会	東洋史研究会、東方学会、内陸アジア史学会、宋代史研究会 日本道教学会（理事）
現在の専門分野	東洋史（中国近世社会文化史）
研究課題	石刻史料を用いての宋元社会文化史の研究

【研究上の特記事項】

平成20～22年度科学研究費基盤研究B（研究代表者村岡倫龍谷大学教授）「中国社会へのモンゴル帝国による重層的支配の研究 元朝史料学の新展開をめざして」分担研究者、同研究のNEWSLETTER『13、14世紀東アジア史料通信』の編集（今年度2回発行）。平成17年度～21年度科学研究費特定領域研究A「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成」A01-02「中国科举制度からみた寧波士人社会の形成と展開（研究代表者早稲田大学教授近藤一成）」分担研究者。奈良大学研究助成「石刻史料による元朝江南社会の研究」受領。海外調査3回（北京・上海・南京、いずれも短期間）

【社会的活動】

日本歴史学協会委員（学会選出、2003年度から）、本学主催文化講座講演2回

【学内活動】（学内職歴を含む）

文学研究科長（2006年度 - 2008年度）

落語研究会古都家顧問

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 北京を見る読む集める	単	2008年7月	大修館書店	北京の歴史、風土、そこに暮らした日本人について、紙の上に残されたものを中心に一般読者に紹介したもの。『北京トコトコ』その他の雑誌への寄稿を大幅に改稿。
(学術論文) 『元典章 礼部』校定と訳注(三) - 礼制三	共	2008年9月	東方学報 京都83冊	元朝時代の法制史料『元典章』の共同研究による校定と訳注、今回森田は「婚礼」の部分を担当した。 担当頁221 - 233
可見元代石刻拓影目録稿(自癸未年至至元20年)	単	2009年3月	奈良大学総合研究所報 17	日本で見ることできる元代の石刻拓影の目録。あわせて、石刻の目録記述にあたっての、森田の見解を提示している。 1-16p
“地方志所收宋元遺文調査”から“可見拓影目録”まで??日本	単	2009年3月	『東亜史及其史料研究：中日高校第四次学术交流会』(南京大学)	自身の研究の履歴を紹介しながら、この約30年間における日本の石刻研究の展開、そこに見られる史料へのアプローチの状況の変化と、それがどのように研究のあり方に影響を与えてきたかを、中国の研究者に紹介したもの。 3-18p
『天一閣蔵明代科挙録選刊』簡介	単	2009年3月	『13、14世紀東アジア史料通信』10	近刊の『天一閣蔵明代科挙録選刊』について、その概況と元朝官僚社会史料としての利用可能性と問題点を簡述し、あわせて現在利用が可能な明朝科挙録の目録を作成した。 16-22p
(学会発表) 元代士大夫史料として見た天一閣登科録	単	2008年12月	研究集会「元明時代の慶元寧波士人社会」(科学研究費特定領域研究A「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成」A01-02「中国科挙制度からみた寧波士人社会の形成と展開」班・科学研究費基盤研究B「中国社会へのモンゴル帝国による重層的支配の研究 元朝史料学の新展開をめざして」共催(於早稲田大学文学学術院)	近年刊行された寧波天一閣の明代科挙登科録の、元朝社会史料としての利用可能性と史料的問題点について述べた。

“地方志所收宋元遺文調査”から“可見拓影目録”まで??日本における元朝石刻史料環境	単	2009年3月	「東亜史及其史料研究：中日高校第四次學術交流会」（於南京大学歴史系）	自身の研究の履歴を紹介しながら、この約30年間における日本の石刻研究の展開、そこに見られる史料へのアプローチの状況の変化と、それがどのように研究のあり方に影響を与えてきたかを、中国の研究者に紹介したもの。
(その他) 雑誌連載 「中国を読む、見る、集める」	単	1993年3月から連載（月1回）	『北京トコトコ』	北京在住日本人対象の月刊日本語フリーマガジンに、北京を中心とした歴史文化事象を、モノやコトバを手がかりに紹介。本年度執筆は、160回から169回（細目は略）。
碑文（中国の）	単	2008年5月	『歴史学事典』（弘文堂）	中国の石刻史料について、その基礎知識と文献、研究の現況について概観した。
多様化する活躍の場	単	2008年7月	『上方芸能』168	同誌の特集「上方芸能12ジャンル - 40年目の地平」の講談の部分を担当し、若手を中心に、活躍の場が多様化する現況を述べた。
奈良大学図書館企画展示『城壁	単	2008年6月14日～9月20日		北京でのオリンピック開催にちなんで、図書館展示室において、北京の変遷とそこに暮らした日本人にかかわる書籍の展示をおこなった。
近着石刻関係書所収元代石刻リ	単	2009年1月	『13、14世紀東アジア史料通信』9	近着中国書中の元代石刻を解題紹介した。19p-21p
私の北京本10冊	単	2009年3月	『北京トコトコ』2009年3月号	同誌の依頼により、「本」特集号のために、北京関係書籍ベスト10を挙げ、解説をしたもの。